

“もしも”のこと 考えてみましょう

大雨への備え できていますか？

6～9月は雷が増加するので
気をつけましょう。
詳しくはHPをご覧ください。



6月～10月は出水期と呼ばれ、大雨や台風による水害が多くなる季節です。特に近年、梅雨の末期には**線状降水帯**が多く発生し、各地で甚大な被害をもたらしています。日ごろから大雨に対する準備をしておき、いざという時には適切な行動をとれるよう心がけましょう。

問合せ 区民企画課 5階54番 TEL 06-4399-9909 FAX 06-6629-4564



台風 が来そうなときは

台風が 発生！ どうしたらいい？

- ☑ テレビ・ラジオをつけ情報を入手し、台風の進路・勢力に応じて行動しましょう！
- ☑ 大阪防災アプリからも情報が入手できます！アプリの入手は右下の二次元コードから！

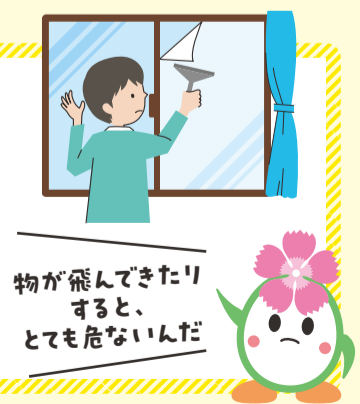
3日前	▶ 台風の進路を確認 ▶ 避難する場合の避難先を確保 ▶ 備蓄品の確認・準備
2日前	▶ 台風の進路・勢力を確認 ▶ 避難先を検討(自宅に留まるか親類・知人宅等へ避難か)
1日前	▶ 暴風域に入る時間を確認 ▶ 断水に備える(水を浴槽・バケツなどに貯める) ▶ 家の周りを点検(物干し竿を下ろす、植木鉢等を屋内に入れる、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼るなど)
12時間前	▶ 気象情報・河川情報・避難情報の収集 ▶ 避難先への避難準備 ▶ 家の周りや備蓄品の最終点検
6時間前	▶ 暴風や大雨に備え不要不急の外出は控える ▶ 避難先へ避難完了
再接近～ 通過	▶ 安全な場所で避難 ▶ ライフラインの途絶に備える (懐中電灯・携帯電話などをすぐ使えるようにしておく)

安全のために日ごろからの備えが大事です

- ☑ 災害時避難所以外に、親類・知人宅等の避難先も検討しておきましょう
- ☑ 「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」を準備しておきましょう
- ☑ 家の周りや屋根瓦などをチェックしておきましょう

Check!

- 瓦のひび割れ・ずれ・はがれ、トタンのめくれ・はがれを修理しておく
- アンテナをしっかり固定しておく
- ガラスのひび割れ、ゆらみ、がたつきを修理しておく



物が飛んできたりすると、とても危険！



水害 が発生しそうなときは

河川が氾濫し そうだと！ どうしたらいい？

- ☑ 河川には絶対近づかない！
- ☑ テレビ・ラジオをつけ情報を入手し、河川ごとの警戒レベルに沿って行動しましょう！
- ☑ 大阪防災アプリからも情報が入手できます！アプリの入手は右下の二次元コードから！
- ☑ 避難先と安全な避難ルートを確認しましょう！
- ☑ 避難するときは3階以上の建物へ、履き慣れた靴で安全を確認しながら移動しましょう！
- ☑ 浸水が始まったら、命を守る行動に全力を傾けましょう！

防災気象情報	避難情報	皆さんの命を守る行動	マイタイムラインの例
早期注意情報	警戒レベル 1	心構えを高める・気象情報に注意	非常持出袋を再確認しておく 必需品・貴重品等を確認する
レベル2 氾濫注意報 レベル2 大雨注意報 等	警戒レベル 2	避難行動を確認 ▶ ハザードマップで避難経路を再確認 ▶ 周辺の雨の状況に注意	携帯電話を充電しておく
レベル3 氾濫警報 レベル3 大雨警報 等	警戒レベル 3 高齢者等避難	高齢者等、避難に時間を要する人は避難 ▶ 親戚宅・知人宅・職場等、浸水しない(3階以上を含む)、より安全な場所へ ▶ 最寄りの避難所へ ▶ 警戒レベル4「全員避難」に備えて非常持出袋を再確認	親戚や知人に自分たちの避難先を伝えておく
レベル4 氾濫危険警報 レベル4 大雨危険警報 等	警戒レベル 4 避難指示 危険な場所から 全員避難！	速やかに避難先へ避難 ▶ 親戚宅・知人宅・職場等、浸水しない(3階以上を含む)、より安全な場所へ ▶ 最寄りの避難所へ 避難の途中で危険を感じたら 近くの安全な場所へ ▶ 最寄りの避難所へ ▶ 最寄りの水害時(津波)避難ビルへ ▶ 高い建物や高い場所へ	家の戸締りを確認する ●●●小学校に避難する ※避難経路の状況によって 早めに家を出る 警戒レベル4までに必ず避難すること！ 避難完了 状況を親戚や知人に連絡する
レベル5 氾濫特別警報 レベル5 大雨特別警報 等	警戒レベル 5 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保 浸水の中を避難するのはとても危険です ▶ 最寄りの避難所へ ▶ 最寄りの水害時(津波)避難ビルへ ▶ 高い建物や高い場所へ	マイタイムラインとは 風水害に備えてご自身が家族や生活の状況に合わせた逃げ方を考えておくものです。いつどのタイミングで誰が何をするのか考えておきましょう。

警報が発表されたからといって避難情報が発令されるとは限りません。

避難するときは、大阪防災アプリで大阪市の避難情報をチェック!!

※河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報が出るとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

安全のために日ごろからの備えが大事です

- ☑ 水害ハザードマップで自宅の浸水程度を把握しておきましょう(マップは右下の二次元コードから確認できます)
- ☑ 災害時避難所・避難ルートを確認しておきましょう
- ☑ 「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」を準備しておきましょう
- ☑ 家の周りや家財をチェックしておきましょう

Check!

- 側溝や排水溝を掃除し、水の流れをスムーズにしておく
- 大切な写真や書類等は、床上浸水したときに濡れないように保管しておく



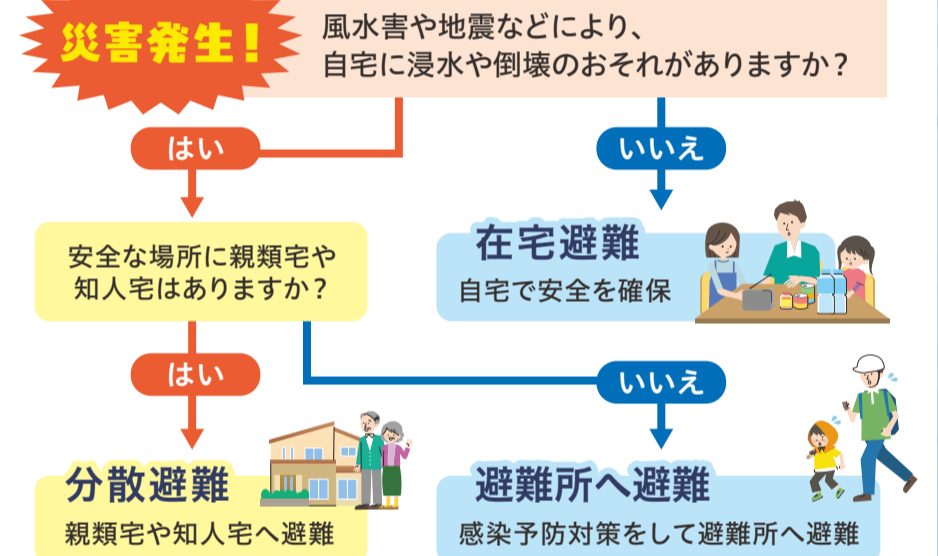
避難行動 について

災害が起こったとき、移動に危険が伴う場合や自宅が堅牢な建物の場合、避難所への避難だけではなく「在宅避難」や「分散避難」も選択肢を含め、それぞれの状況にあった避難方法を考えることが大切です。また、1人では安全な場所に避難することが困難な方は「個別避難計画」を作成しておくのも一つの方法です。詳しくはHPをご覧ください。



避難行動の検討

避難所・避難ルートを確認しましょう。避難所が過密状態になることを防ぐことも重要です。下の図を確認し、可能な場合は「在宅避難」や「分散避難」の避難行動をとりましょう。



災害情報 について

東住吉区 水害ハザードマップ

東住吉区 防災マップ

市民防災 マニュアル

大阪防災アプリ

家族構成に合った備蓄品目が表示される「備蓄品チェックリスト」が便利です!

アプリは多言語に対応!

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

iPhone・iPad用

Android 端末用